

「スポーツ基本計画」の ありかたについて（提案）

2011年10月18日

公益財団法人 笹川スポーツ財団

1. スポーツ基本計画の策定プロセスに関する提案

(1) 「スポーツ振興基本計画」の詳細な成果検証



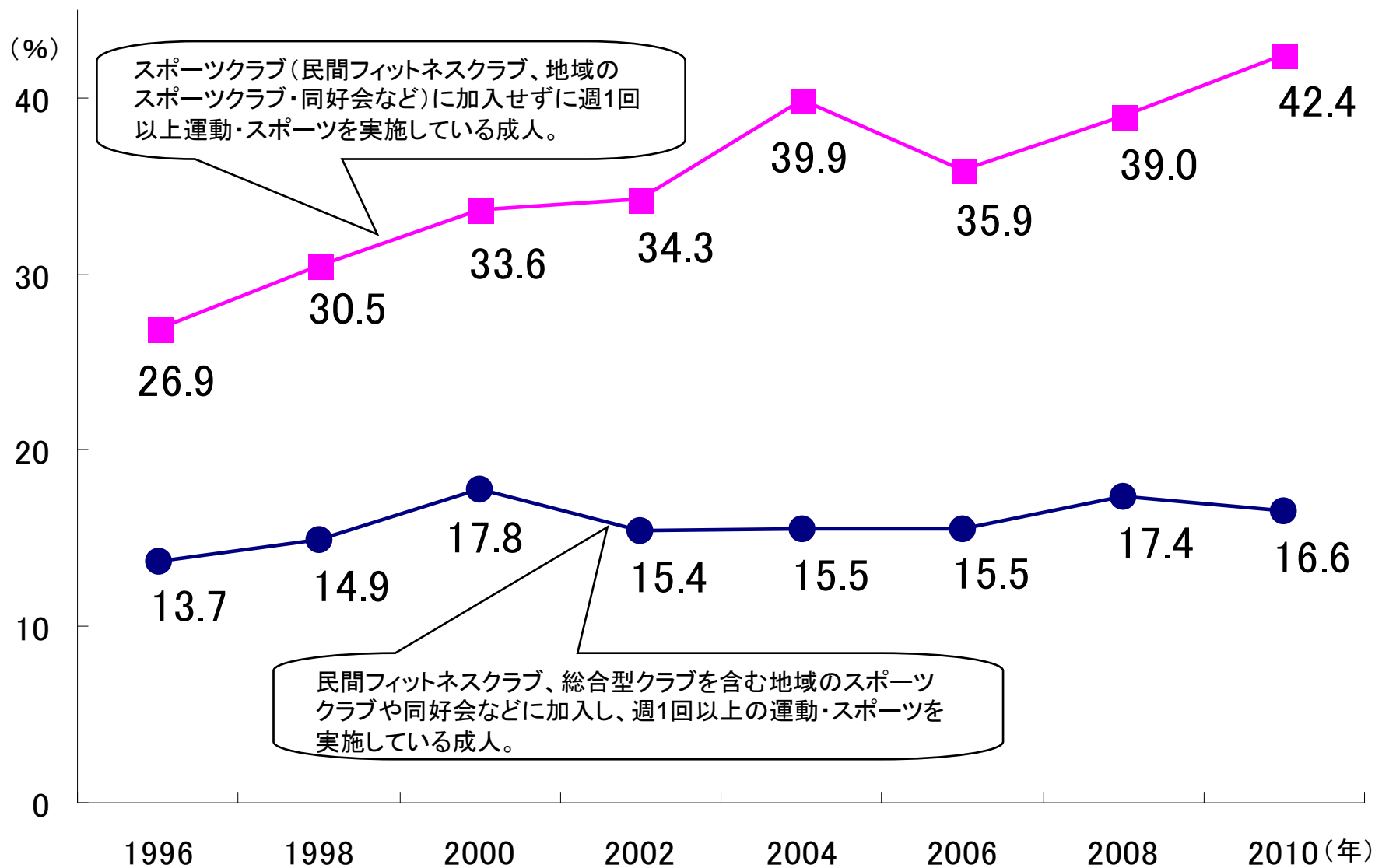
総合型地域スポーツクラブのスポーツ実施率向上への貢献度等

(2) 運動・スポーツに関するすべての省庁の意見集約



スポーツ庁の設置を視野に入れた場合、関係省庁との議論は不可欠

図表1 スポーツクラブ加入状況別にみる週1回以上の運動・スポーツ実施率の推移



笹川スポーツ財団「スポーツ活動に関する全国調査」(2000~2010)より作成

図表2 スポーツ・障害者スポーツ・学校体育 担当省庁

	スポーツ	障害者スポーツ	学校体育
イギリス (イングランド)	文化・メディア・スポーツ省		教育省
フランス	スポーツ省		国民教育省
カナダ	民族遺産省		(各州の教育省が所管)
オーストラリア	保健・高齢化省		教育省
韓国	文化体育観光部		教育科学技術部
日本	文部科学省	厚生労働省	文部科学省

文部科学省「スポーツ政策調査研究」報告書(2011)などより笹川スポーツ財団作成

図表3 スポーツ関連予算の国際比較

	人口 (2011)	スポーツ関連国家予算		GDP(年)
		円換算 ^{※1}	現地通貨(年)	
イギリス	6,270万人	749億6,500万円	5億7,666万ポンド (2010)	2兆2,474億ドル (2010)
フランス	6,510万人	996億4,800万円	8億6,650万ユーロ (2011)	2兆7,507億ドル (2011)
カナダ	3,403万人	172億2,000万円	2億500万カナダドル (2010)	1兆5,740億ドル (2010)
オーストラリア	2,177万人	50億8,400万円	6,200万豪ドル (2009)	9,878億ドル (2009)
韓国	4,875万人	149億4,500万円	2,135億ウォン (2009)	8,325億ドル (2009)
日本	1億2,805万人	185億6,000万円 ^{※2} (2010)		5兆4,588億ドル (2010)

※1 2011年3月現在の為替レートで計算

※2 学校体育の予算を除く

文部科学省「スポーツ政策調査研究」報告書(2011)などより笹川スポーツ財団作成

2. スポーツ基本計画の骨子のありかたに関する提案

- (1) 政策目標とする指標（定量的・定性的）の妥当性の検討
スポーツ立国戦略：成人の週1回以上の実施率65%程度等



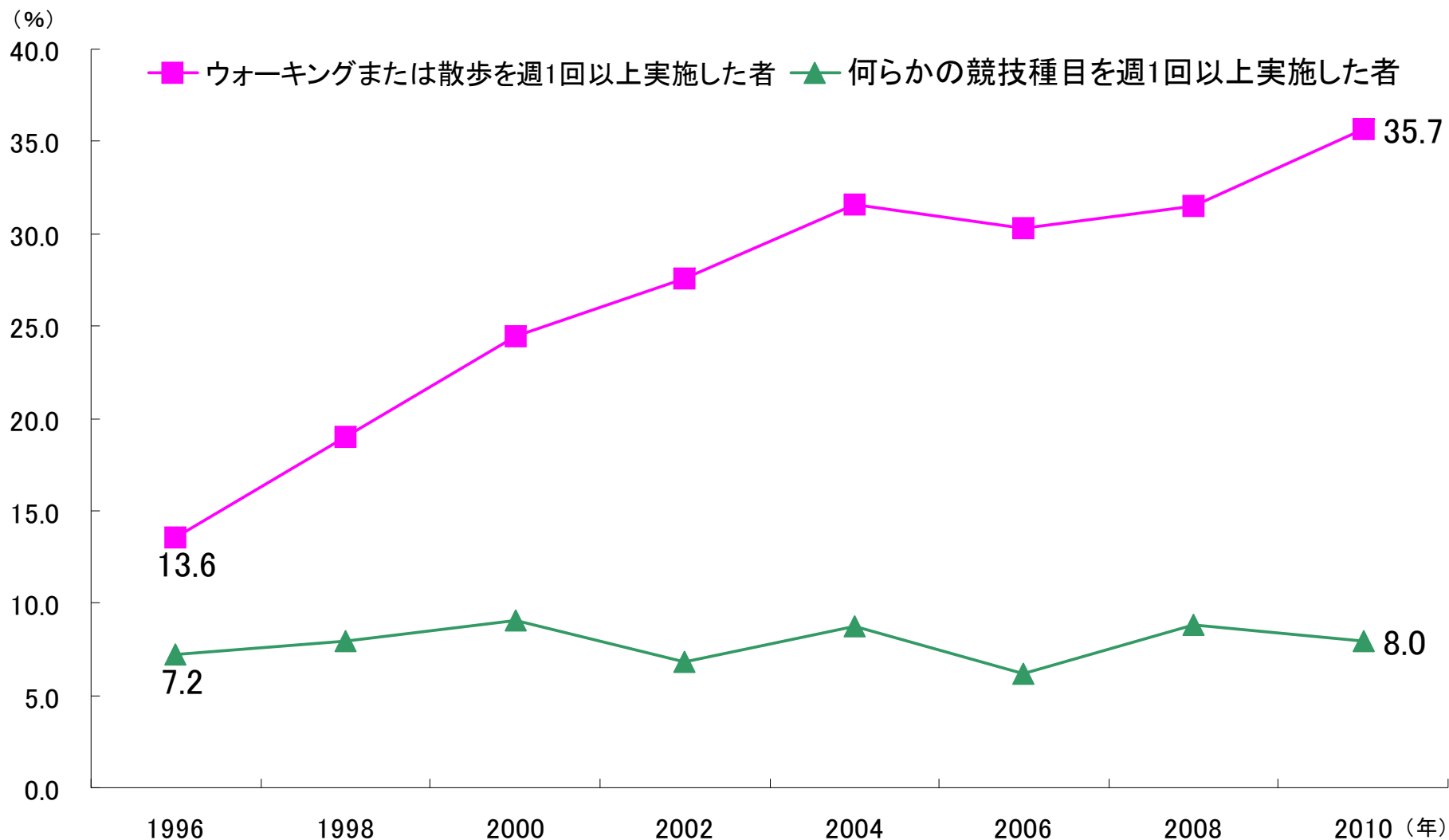
実施種目からみた運動・スポーツ実施率の質的評価の必要性

- (2) 各施策の展開における国、都道府県、市区町村の役割の明示



国－広域自治体間、広域自治体－基礎自治体間の施策の重複の整理

図表4 種目分類別にみる週1回以上の運動・スポーツ実施率の推移



競技種目: 空手、剣道、硬式テニス、サッカー、社交ダンス(ダンススポーツ)、柔道、ソフトテニス、ソフトバレー、ソフトボール、卓球、バスケットボール、バレーボール、フットサル、野球

笹川スポーツ財団「スポーツ活動に関する全国調査」(1996~2010)より作成

図表5 スポーツ実施率の国際比較

	週1回以上	その他条件	対象年齢 (調査年)
イギリス	—	16.5%	16歳～ (2010)
		週3回以上、1回30分以上 中程度の強度	
フランス	64%	—	15歳～ (2010)
デンマーク	77%	—	16歳～ (2007)
オーストラリア	69.5%	—	15歳～ (2009)
韓国	—	50.3%	10歳～ (2010)
		週1回以上、1回30分以上	
日本	59.0%	18.4%	20歳～ (2010)
		週2回以上、1回30分以上 運動強度「ややきつい」以上	

文部科学省「スポーツ政策調査研究」報告書(2011)などより笹川スポーツ財団作成

図表6 運動・スポーツ実施種目の国際比較

	1位	2位	3位	4位	5位	実施条件	対象年齢 (調査年)
イングランド	ウォーキング 〔適度の強度、30分〕 (22.0%)	水泳 (13.4%)	ジム (10.7%)	サイクリング 〔適度の強度、30分〕 (8.5%)	サッカー (7.6%)	過去4週間で 1回以上	16歳以上 (2007)
フランス	自転車 (38%)	水泳、ダイビング (30%)	ペタンク、 ビリヤード (22%)	ウォーキング、 ハイキング、 トレッキング (22%)	ジョギング・ ランニング、 陸上競技 (17%)		15歳以上 (2003)
オーストラリア	ウォーキング (36.1%)	エアロビクス/ フィットネス (22.9%)	水泳 (14.1%)	サイクリング (11.1%)	ランニング (11.0%)	過去12カ月で 1回以上	15歳以上 (2009)
韓国	ウォーキング (29.9%)	筋カトレーニング (ジム) (14.2%)	登山※ (13.6%)	サッカー (8.6%)	バドミントン (5.6%)	-	10歳以上 (2008)
日本	散歩 (ぶらぶら歩き) (34.8%)	ウォーキング (24.5%)	体操 (軽い体操・ラジオ体操など) (18.5%)	ボウリング (13.3%)	筋カトレーニング (11.5%)	過去1年回で 1回以上	20歳以上 (2010)

※ハイキングや山歩きも含まれると推測される。

笹川スポーツ財団「スポーツ白書」(2011)より

3. スポーツ基本計画に盛り込む具体的な施策に関する提案

- (1) 競技団体、運動部活動と総合型地域スポーツクラブの連携促進**
- (2) 公共スポーツ施設と学校開放施設の利用促進**
- (3) 義務教育でのアダプテッド・スポーツ、障害者競技体験プログラムの導入**
- (4) スポーツ参加のきっかけ作りプログラムの開発と普及**

<参考資料>

チャレンジデー

毎年5月の最終水曜日に世界中で開催されている住民参加型スポーツイベント。

人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分間継続して何らかの運動やスポーツをした住民の参加率（％）を競い合う。

チャレンジデー2011概要

- ◇ 開催日：2011年5月25日（水）
- ◇ 実施自治体・地域：103ヵ所（30市、22町、7村、44地域）
- ◇ 総人口：2,302,458人
- ◇ 総参加者：1,062,740人
- ◇ 平均参加率：46.2%